

# 株式会社 ベクター

## 第31期 第2四半期決算

(2018年4月1日～2018年9月30日)

# 説明資料

決算説明会開催日時 2018年10月19日 17:15～  
日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル分室 (1F会議室)

JASDAQ

(証券コード：2656)

# 業績の状況

# 第31期2Q累計実績・・・予想対比



(百万円)

	業績予想 2Q累計	実績			予想対比	
		1Q	2Q	2Q累計	差額	増減率
営業収益	500	244	221	465	▲35	▲7.1%
営業利益	▲160	▲62	▲70	▲132	+28	—
経常利益	▲161	▲63	▲69	▲132	+29	—
純利益	▲163	▲64	▲70	▲134	+29	—

## 第31期 1Q・2Qトピックス

オンラインゲーム事業の新作ゲームのリリースが予定より遅れたため、予想を下回る結果となった。新規スマホゲームにかかる広告宣伝費の計上時期がずれたため、営業費用が予想より少なくなり、営業赤字が予想より縮小した。経常赤字及び純損失が予想より縮小したのは、営業赤字縮小によるもの。

# 第31期2Q累計実績・・・前期対比



(百万円)

	第30期						第31期			前期対比	
	1Q	2Q	2Q 累計	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	2Q 累計	差額	増減率 (%)
営業収益	284	281	565	372	338	1,275	244	221	465	▲100	▲17.8
営業利益	▲38	▲54	▲92	▲83	▲58	▲233	▲62	▲70	▲132	▲39	—
経常利益	▲36	▲46	▲82	▲83	▲58	▲223	▲62	▲69	▲131	▲49	—
純利益	▲37	▲46	▲83	▲84	▲62	▲229	▲64	▲69	▲133	▲50	—

## 第31期 1Q・2Qトピックス

オンラインゲーム事業において、第30期にサービスを開始したスマホゲームの売上が、第31期1～2Qにおいて低調に推移したことに加え、新規ゲームタイトルの開始が第31期1～2Qに無かったことで、業績を底上げすることが出来なかった。

# 事業別 営業収益推移



(百万円)

営業収益	第30期						第31期			2Q累計比	
	1Q	2Q	2Q 累計	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	2Q 累計	差額	増減率 (%)
オンラインゲーム	179	182	361	246	216	823	152	130	282	▲79	▲21.9
ソフトウェア販売	85	80	165	108	106	379	80	80	160	▲5	▲3.5
サイト広告	14	11	25	14	11	49	8	9	17	▲7	▲29.3
その他	6	8	14	4	4	23	3	2	5	▲8	▲58.6
合計	284	281	565	372	337	1,275	243	221	464	▲100	▲17.8

## 第31期 1Q・2Qトピックス

オンラインゲーム事業は、第30期にサービスを開始したスマホゲームが、第31期1~2Qにおいて低調に推移した。新規タイトルのリリースもなく、低水準で推移した。

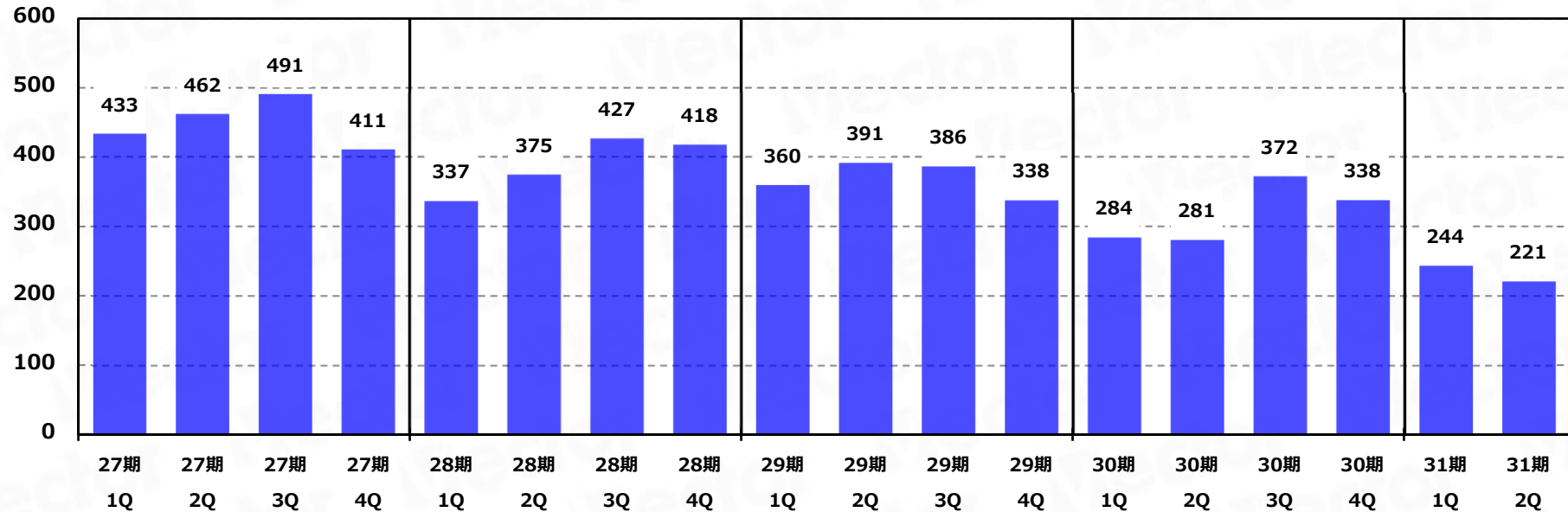
ソフトウェア販売事業は、概ね横ばいの状態が続いている。

サイト広告事業は、影響額が少ないものの減少傾向が続いている。

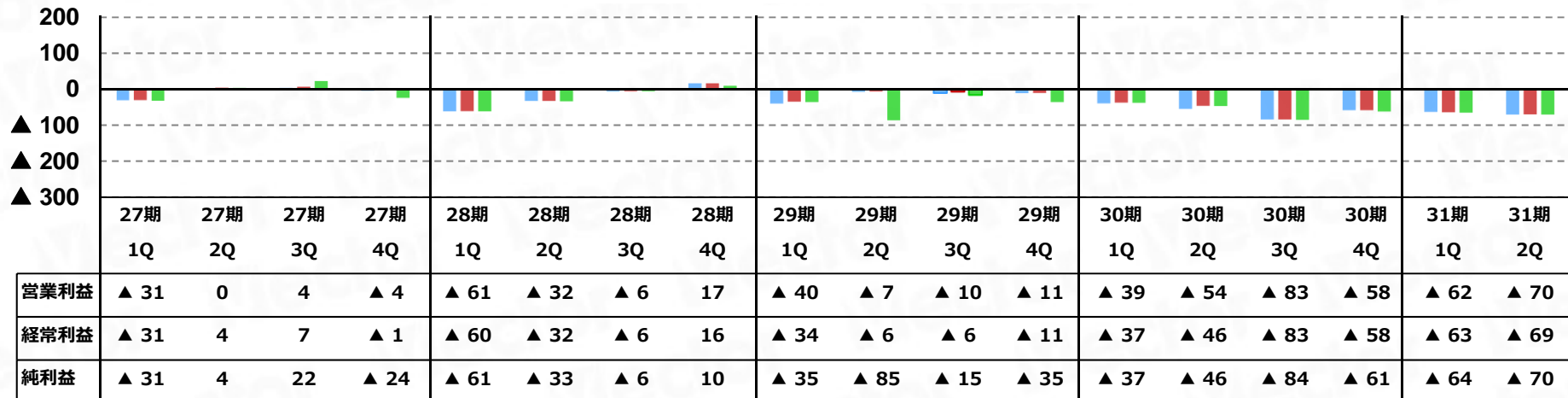
# 営業収益・営業利益推移(直近5期Q単位)

## ■ 営業収益

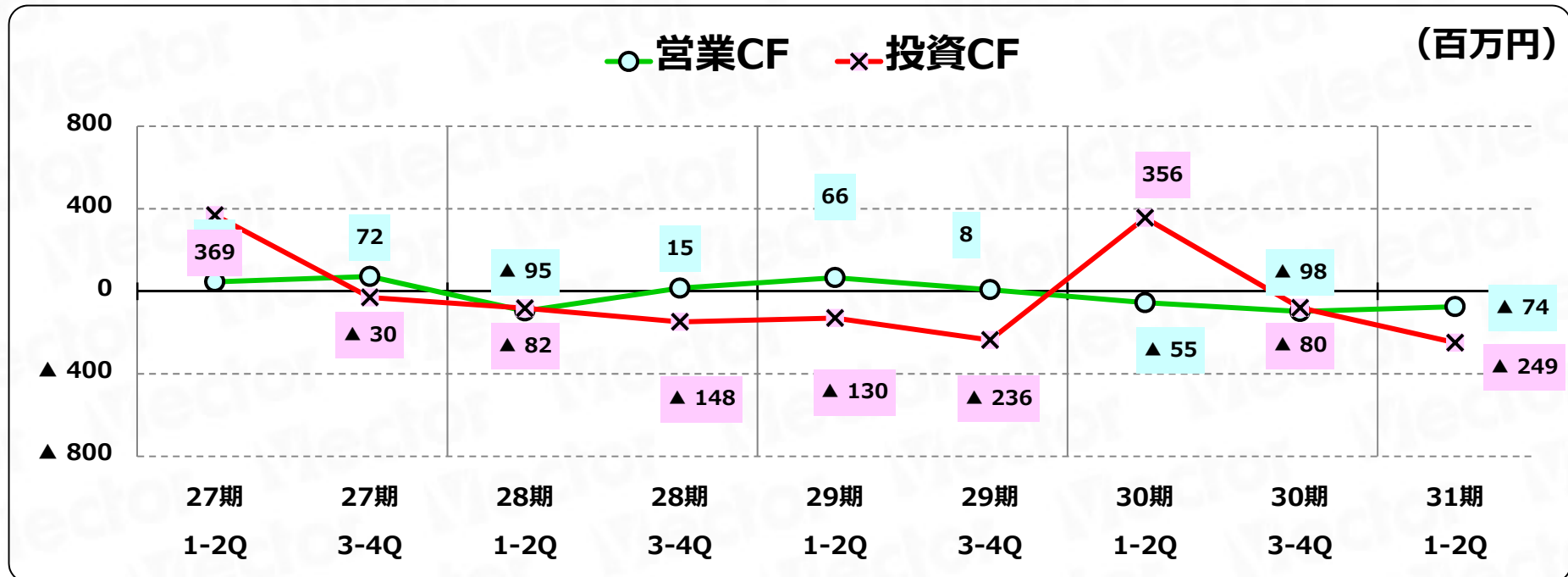
(百万円)



## ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 純利益



# キャッシュ・フロー推移(直近5期半期単位)



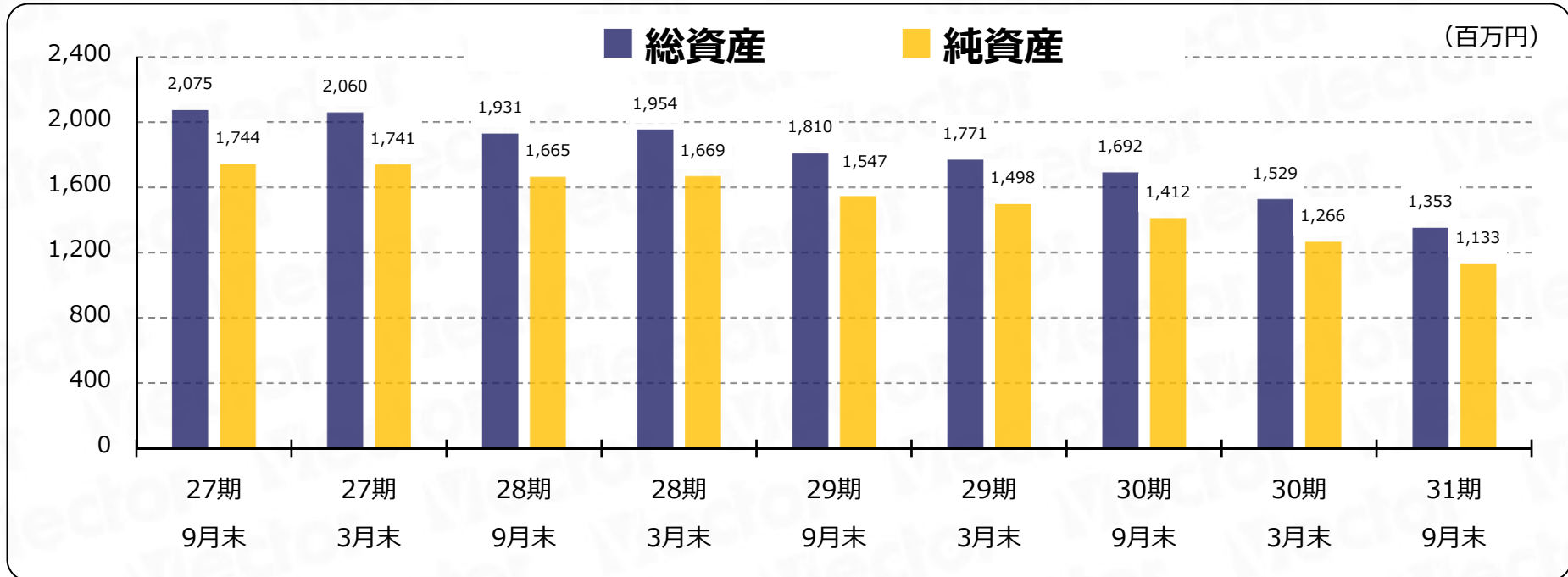
## トピックス

### 投資CF推移

	27期 1-2Q	27期 3-4Q	28期 1-2Q	28期 3-4Q	29期 1-2Q	29期 3-4Q	30期 1-2Q	30期 3-4Q	31期 1-2Q
固定資産投資	▲ 42	▲ 52	▲ 82	▲ 48	▲ 30	▲ 29	▲ 54	▲ 79	▲ 198
固定資産以外の投資	411	22		▲ 100	▲ 100	▲ 207	410	▲ 1	▲ 51
投資CF計	369	▲ 30	▲ 82	▲ 148	▲ 130	▲ 236	356	▲ 80	▲ 249

ソフトバンクと「App Pass」運用の業務提携を行ったことにより、システム運用の設備投資（無形固定資産の取得）が増加している。

# 総資産・純資産推移(直近5期半期単位)



## トピックス

総資産のうち、現金及び現金同等物残高は、第27期以降概ね12億円前後で推移していたが、第31期は設備投資の支出が多く、10億を下回る結果となっている。業績回復のための各種施策を遂行させるための資金は潤沢に保有している。

純資産総額は、純損失が続いているため減少している。



# 今期業績の予想

第31期 第3四半期(累計)

# 第31期 2018年サービス開始予定

## 幻想大陸 エルストリア

HIGHLAND SKY ELESTORIA



『幻想大陸エルストリア』は平成29年9月より香港、台湾などの地域で 原題『神殿戦記』としてサービスを展開中のファンタジーRPGです。

バラエティ豊かなキャラクターをはじめ、コンテンツや演出などに

よりユーザーからの支持を得ている人気タイトルです。

iOS/Android

# 第31期 2018年サービス開始予定

Vector



## DRAGON REVENGE

ドラゴン リベンジ

タイトル名  
ゲーム概要

DRAGON REVENGE (ドラゴンリベンジ)

3Dグラフィックスで描く見下ろし型のMMORPG。

ソロプレイ、マルチプレイに対応しており、大容量のコンテンツが特徴的。直感的プレイが可能でMMORPG初心者でも簡単にプレイできます。

ティザーサイト  
開発会社

<https://dhunter.vector.co.jp/>

Guangzhou Txitech Software Technology Co., Ltd.

PCブラウザ

## 第31期 AppPassの運用業務受託について



2018年5月23日にソフトバンク株式会社と同社が提供するAndroidスマートフォン向けアプリ取り放題サービス「App Pass」の運用に関する業務提携の契約を締結いたし、2019年1月1日から運用開始予定であります。業務提携により当社が具体的に担当する業務内容は次の通りです。

- ソフトバンク株式会社が行っている本サービスを継続提供するために必要となるサーバー、通信システム、及びアプリケーション（以下まとめて「本システム」という）を運用開始日までに構築し、稼働。
- 本システムの運用、保守及び両社で合意した改修を実施。
- 本サービスでアプリを配布するコンテンツプロバイダー（以下「CP」という）との契約を締結・管理し、CPの提供するアプリ（以下「CPアプリ」という）を本サービスで利用できるよう必要な改修やCPへのサポートを実施。
- CPアプリの利用実績に伴い、CPへの収益分配をソフトバンク株式会社に代わり算出し、CPへの支払代行業務を実施。
- 本サービス及びCPアプリの利用状況を分析するための環境を整備、運用。
- 本サービスの利用者に向けた広告宣伝その他の利用促進を実施。

App Pass  
ナビ、スタンプ、ゲームなどの  
**超人気アプリが  
全部トリホーダイ!**

総額  
10万円以上

500 App Pass  
チケット  
毎月  
もらえる!

有料アイテムも 500円分タダ!!

ソフトバンクが、同社のAndroid端末利用者に向けて、2014年8月から提供しているサービスです。

AppPass利用者は、ナビ、スタンプ、ゲームなど350個以上（総額10万円相当）の人気アプリが月額370円で利用することができます。また毎月500円相当のチケットが配布されるので、AppPass内のアプリで、有料アイテムを購入することができます。

当社でも、「今日のごはん」「だいすきサンプル!」の2アプリを提供中です。



# 第31期3Q累計業績予想

(百万円)

期別 区分	第30期 2018年3月期						第31期 2019年3月期				3Q累計比	
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	3Q 累計	4Q 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想	3Q 累計 予想	差額	増減率 (%)
営業収益	284	281	372	937	338	1,275	244	221	335	800	▲137	▲14.7
営業利益	▲38	▲54	▲83	▲175	▲58	▲233	▲62	▲70	▲78	▲210	▲35	—
経常利益	▲36	▲46	▲83	▲165	▲58	▲223	▲62	▲69	▲78	▲209	▲44	—
純利益	▲37	▲46	▲84	▲167	▲62	▲229	▲64	▲69	▲78	▲211	▲44	—

**第31期第3四半期もオンラインゲームに注力し、  
業績の回復に邁進してまいります。**

**また利用者の皆様に安心してご利用頂けるよう  
一層の情報セキュリティ対策の強化を図ります。**

**より一層のご支援、ご鞭撻のほど  
宜しくお願い申し上げます。**

本説明会及び参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。